

鳥取市議会予算審査特別委員会文教経済分科会会議録

会議年月日	令和4年2月28日（月曜日）		
開 会	午後1時9分	閉 会	午後2時5分
場 所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席分科員 （8名）	分科会長 田村 繁已 副分科会長 朝野 和隆 分科員 岩永 安子 米村 京子 西村紳一郎 平野真理子 長坂 則翁 上杉 栄一		
欠席分科員	なし		
分科員外議員	なし		
事務局職員	調査係長 中川 真理 議事係主任 橋本 圭司		
出席説明員	【経済観光部】 経済観光部長 平井 圭介 次長兼経済・雇用戦略課長 大野 正美 経済・雇用戦略課課長補佐 古網 竜也 経済・雇用戦略課市場開拓係長 岩崎 勝紀 経済・雇用戦略課雇用政策係長 保木本 淳 企業立地・支援課長 西田 茂樹 企業立地・支援課参事 網田 正 企業立地・支援課課長補佐 太田 順二 企業立地・支援課誘致・振興係長 山根 裕史 観光・ジオパーク推進課長 平井 宏和 観光・ジオパーク推進課参事 米澤 裕治 観光・ジオパーク推進課課長補佐 西垣 拓二 観光・ジオパーク推進課観光振興係長 川口 隆 経済観光部参事 前田 武志 鳥取市関西事務所長 林 公博		
傍 聴 者	3人		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午後1時9分 開会

【経済観光部】

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆田村繁已分科会長 予算審査特別委員会文教経済分科会を開会します。

議案第5号令和4年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分を議題とします。

執行部より説明をお願いします。大野次長。

○大野正美次長兼経済・雇用戦略課長 経済・雇用戦略課大野でございます。そうしましたら令和4年度の一般会計当初予算の説明をさせていただきます。委員会資料は31ページからになり

ますが、基本的に歳入は歳出のところで併せて説明をさせていただきます。また、説明は主だった事業について説明をさせていただきます。加えて全員協議会で説明をさせていただきました事業については省略をさせていただきたいと思います。

そうしましたら委員会資料の36ページ、歳出を御覧いただきたいと思います。上から2段目と3段目、シルバー人材センターの運営補助金、それからその下の高齢者活用・地域雇用サポート事業補助金でございます。事業別概要は25ページの上段と下段になります。これはいずれもシルバー人材センターへの補助金ということになります。シルバー人材センター運営補助金、それから高齢者活用・地域雇用サポート事業補助金と2種類ございますけども、下の高齢者活用・地域雇用サポート事業補助金につきましては、シルバー人材センターの中の派遣労働事業、こちらの事業の補助という形になります。いずれもシルバー人材センターの運営及び事業に要する経費のうち、事業収入それから会費収入等の特定財源を除いた額につきまして、市の予算の範囲内で補助を行っているものでございます。加えて上のシルバー人材センター運営補助金のほうは通常の運営費と、あとシルバー人材センターの連合会の賛助会の会員費、それから全国のシルバー人材センターの賛助会の会費そういったものも一緒に予算化をしております。

◆田村繁巳分科会長 西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課西田です。それでは資料の39ページをお開きいただきたいと思います。一番上でございます。各種金融対策利子補助金、コロナ対策の分でございます。2億2,743万7,000円です。事業別概要は135ページの上段でございます。制度の概要につきましては、先ほどの補正予算でも説明させていただきましたけども、これは令和3年3月末までに補償申込みされたコロナ融資を対象としておりますので、年を追うごとに融資残高は減少するということから、令和3年度の2月補正後の額に比べましても約1,200万円の減を見込んでおります。財源につきましては2分の1が県補助金、残りはその他ということですけど、新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金でございます。

その下でございますけども、コロナ克服特別金融支援資金利子補助金4,595万4,000円でございます。こちらは令和3年4月以降に保証申込みをされましたコロナ融資を対象としておりまして、現状では令和4年4月以降のコロナ融資の延長は県から示されておりませんので、令和4年3月までに保証申込みをされます見込みの融資額を推計しまして、約500件170億円の融資実行分の利子補助額を計上しております。財源の2分の1は県支出金、残りは一般財源でございます。

それからその3つ下でございますけども、企業立地促進補助金1億4,379万5,000円、事業別概要は136ページの上段でございます。この事業は2つの補助事業がございます。事業別概要には①、②、③としておりますけども、企業立地促進補助金には通常メニューと所得向上メニューというのがございますけども、当初予算におきましては6月までに執行予定分、これの①番の通常メニュー、これの11件分を計上させていただいております。その分の予算額が1億3,841万4,000円でございます。それから2つ目が事業別概要でいいます③番の情報通信関連企業立地促進補助金でございます。これは情報通信関連事業者が市内のテナント等を賃借しまして、新規創業または事業拡張をする場合に事業開始から5年間賃借料を支援するもので、

交付には雇用要件の達成が必要となります。当初予算におきましては6件分538万1,000円を計上しております。財源のその他はふるさと納税基金繰入金でございます。

その下でございますけれども、雇用維持創出支援事業費980万円、事業別概要136ページの下段でございます。これは大量雇用創出補助金でございますけれども、先ほどの情報通信関連企業立地促進補助金、この指定を受けました企業で、対象となるのは主に事務系の企業ですけれども、ある程度まとまった雇用をしていただくものに対しまして、常用雇用者1人当たり20万円を支給するものでございます。当初予算におきましては2社で49人分の980万円を計上しております。

◆田村繁巳分科会長 大野次長。

○大野正美次長兼経済・雇用戦略課長 経済・雇用戦略課大野でございます。続きまして委員会資料の40ページ一番上でございます。商店街にぎわい形成促進事業費でございます。事業別概要が126ページの下段でございます。この事業は商店街の空き店舗の活用並びに環境整備、それからコミュニティの醸成等を図る活動を推進することによりまして、中心市街地の賑わい創出、商業進行を図ることを目的とした事業でございます。事業の内容でございますけれども、まず1つ目が活動支援事業ということで地域の文化・人材・資源を活用した商店街づくり事業や販売促進、ニーズ把握、その他商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助するものでございます。補助率3分の2で上限60万の補助になります。

それから2つ目が環境整備事業でございます。商店街の良好な環境整備に要する経費の一部を補助するというものでございます。補助率2分の1で上限は40万円ということでございます。過去3年間の実績はそこにお示ししております。ちなみに令和元年度の環境整備事業は1件と出ておりますが、これは智頭商店街の防犯カメラの設置に対する支援を行っております。

令和4年度の事業の想定件数でございますけれども、活動支援事業のほうが7件想定しております。環境整備事業が1件ということで合わせて8件支援を想定しております。予算要求額が460万円ということで、その他財源につきましては、ふるさと納税の基金の繰入金を活用することとしております。

続きまして委員会資料40ページの上から2番目、大型空き店舗対策事業費でございます。事業別概要は127ページの上段でございます。この事業は空き店舗の中でも特に街の景観やイメージを損なう大型空き店舗の解消を推進するという目的で中心市街地の賑わい創出、商業振興を図るための支援をする事業でございます。

事業の内容につきましてはそこに3つ上げております。1つ目が商店街テナントマッチング事業ということで、対象物件の調査、活用方策の検討、出店意欲のある事業者の掘り起こし、連絡調整等の業務を鳥取市中心市街地活性化協議会に委託して行ってもらっているものでございます。この事業費の予算が150万円でございます。それから2番目ですけれども、大型空き店舗入居促進補助金ということで、テナントへの入居が内定した事業者等に対しまして、商業施設等としての活用に必要な経費の一部、これが初年度の賃料でありますとか、改装費でありますとか、広告宣伝費、そういったものを補助させていただいております。補助率は4分の3、上限が300万円ということで来年度1件の想定で予算300万円を上げさせていただいております。

す。それから3番目としまして、まちなか振興ビジネス活性化支援事業補助金ということで、これは商店街の組合等が町なかを振興する観点で実施をされます地域課題に対応する事業に要する経費の一部を補助するというものでございます。地域課題といいますのは、少子高齢化でありますとか、安全・安心、それから賑わいの創出、そういったものが地域課題という形で、その解決に対応するような事業に対して支援をしております。補助率は3分の2、上限が600万ということでございます。

それから次ですけれども、大型空き店舗の支援実績ということで、令和3年度に1件という形で実績が上がっております。まちなか振興につきましては3年度の実績はございません。予算要求額が450万円、その他財源につきましてはふるさと納税基金の繰入金を充当させていただいております。

◆田村繁巳分科会長 西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課西田です。そうしましたら、その2つ下でございすけれども、ビジネスマッチング支援事業費、予算額200万円、事業別概要は138ページの上段でございす。これは、市内企業が展示会等、商談会等への出店する際の費用を支援するものでございすけれども、令和3年度におきましては実績が現在のところ3件しかございせんでした。しかしながら、コロナ禍におきまして、イベント主催者側のオンライン形式での開催等、参加がしやすいような工夫もされておりますので、市内企業におきまして活用促進を図っていききたいというふうに考えているところでございす。

◆田村繁巳分科会長 大野次長。

○大野正美次長兼経済・雇用戦略課長 続きますて委員会資料41ページが一番上でございす。スマート・エネルギー・タウン構想推進事業費、事業別概要が127ページの下段でございす。この事業はエネルギーの地産地消による地域内経済循環を促進することを目的に、再生可能エネルギーの普及促進を図るための取組を支援するものでございす。事業の内容ですけれども、まず、1つ目がエネルギー地産地消普及促進事業ということで、これは小中学生に地域エネルギーについての出前授業や現地見学会を実施をしているものでございす。これは電源の見える化システムを活用した再生可能エネルギー利用促進協議会というところに委託をして行っている事業でございす。ちなみにこの協議会の参加メンバーは鳥取市、それから株式会社市民エネルギーとっとり、それからとっとり市民電力、それから鳥取大学、株式会社アクシスで協議会を編成しているものでございす。

それから2番目の事業としまして、地域エネルギー会社と連携したエネルギー事業の推進ということで、地域でのPPA、PPAといいますのは太陽光パネルを屋根等に実装する事業ということでございす。それから小水力、それからバイオマス、そういったものなどの地域での地産地消の取組の検討等を行っていただくための支援事業ということでございす。地域エネルギー会社といいますのは、地域の智頭石油さんでありますとか、日ノ丸産業さん、鳥取ガスなど、地域のエネルギーを供給している会社がこの地域エネルギー会社ということでございす。計画といたしましては、まず、小中学校への地域エネルギーの出前授業の実施、これは来年度10校予定しております。予算として100万円を計上させていただいております。それか

ら、地域エネルギー推進コーディネーターの配置の人員費としまして285万4,000円、それから青谷に立地をしていただいております、旧日置小学校を活用していただいておりますけれども、この火災保険料6,000円ということで、合わせて386万円を要求をさせていただいております。この国県支出金の50万ですけれども、これは地方創生推進交付金を充てております。

続きまして委員会資料41ページの上から3番目でございます。国際経済交流推進事業費でございます。事業別概要は128ページの上段です。この事業につきましては環日本海交流センターの運営事業、これがまず1つでございます。環日本海交流センターの3名のコーディネーターの配置をしまして運営を行っております運営費、それから貿易相談サポートなんかの事業を行っております。翻訳でありますとか、通訳支援等を行っているということでございます。あと、外国の関係者、機関等とのマッチング事業、それから語学等の講習会、勉強会等の事業も実施をしております。あと、メルマガ等で情報配信なんかも行っております。これらの環日本海交流センターの運営事業費としまして1,404万3,200円を計上させていただいております。併せてこのセンターでは、外国人の留学生の地域就労を支援するためにインターシップ事業も行っております、この経費として49万5,000円を計上させていただいております。

通常ですと、中国の延辺朝鮮族自治州でありますとか、環日本海拠点都市会議、こういったものの予算も通常この中に上がってきますが、当初予算としてはゼロということで、今回は当初予算には上げておりません。あわせて、中国の延辺朝鮮族自治州とは、職員の相互交流を行っておりますが、これもコロナの状況を見ながらということで補正予算のほうで検討させていただくということにさせていただきたいというふうに思っております。合わせて予算としましては1,453万9,000円を要求させていただいております。

◆田村繁巳分科会長 西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課西田です。では、その下でございますけれども、農工商連携マッチング事業費584万円でございます。事業別概要は139ページの上段でございます。これは農工商連携に係ります6次産業化の取組を商工会議所に委託しまして、コーディネーターを1名配置し、マッチング支援等を行っている事業でございます。主な事業内容としましては農林漁業者等と商工業者のマッチング支援としまして、コーディネーターが企業を巡回訪問、ヒアリング等を行いまして、案件の発掘ですとか、企業間同士のマッチングなどを行っております。また、専門家アドバイス事業としまして商品開発技術、経営改善等の課題解決、これらを県内外の専門家に個別相談をする際の支援も行っております。ほかにも地元産品を売れる商品へと磨き上げを行うために首都圏等の消費者を対象にしまして、モニタリングを行う事業なども行う予定としております。財源としまして、2分の1が国の地方創生臨時交付金を活用しております。

次に資料の42ページの一番上でございますけれども、事業承継推進事業費355万5,000円、事業別概要は139ページの下段でございます。これには事業が3つございまして、事業別概要を御覧いただきますと、まず1つ目ですけれども、①の事業承継推進補助金、これは事業承継に關します融資を活用した事業者の利子を支援するものでございます。補助率が3分の2で、補助

期間7年以内、ただし、限度額としまして単年度10万円、7年間で70万円を上限としているものでございます。対象となる資金につきましては、県との協調融資の制度融資資金の事業承継支援資金、それから日本政策金融公庫の事業承継・集約・活性化支援資金でございます。それから②番、第三者承継支援補助金です。これは市内企業の第三者への承継を促進するために、まずは専門家にアドバイスを受けるための経費を支援するものでございます。予算額は225万円を計上させていただいております。③番としまして、これは新規の事業でございますけれども、事業承継セミナーということで、事業承継を専門家に相談する前段としまして、事業承継とはどういうものであるのか、どうすればよいのか、そういったことを学ぶセミナーの開催を考えております。事業承継はデリケートなものでございますので、事業主がなかなか表立って進めにくいということもございますので、このセミナーに参加しているということが他の参加者に分からないようなオンラインでの参加も可能な形式を予定しているところでございます。予算額は20万円でございます。事業承継推進事業費の財源のところで国県支出金177万7,000円、これは国の地方創生推進交付金でございます。

SDGs未来都市推進事業費3,348万7,000円でございますけれども、これは事業別概要は140ページの上段でございますけれども、事業はいろいろとございますので、別途資料を作っております。この文教経済委員会の資料の53ページ、54ページで御説明したいと思います。まず、53ページでございます。昨年5月にSDGs未来都市に選定をされまして、令和3年9月補正におきまして事業を開始したところでございますけれども、令和4年度も引き続きまして、SDGs未来都市として目指すゴールに向けまして様々な事業を展開していきたいというふうに考えているところでございます。2番の事業の内容のところですけども、経済、社会、環境の3側面とそれをつなぐ統合的な取組、そういったものをこういった形で進めていきたいというふうに考えております。具体的な事業につきまして御説明をしたいと思います。なお、令和3年度から事業開始をしております補助事業につきましては、基本的に説明を省略させていただきたいと思っております。

まず、経済面の取組ということで次世代農業の推進、全体としまして1,160万円の予算を計上しておりますけれども、その中で、①番の新規事業としまして再生可能エネルギー活用型スマート農業実装支援補助金、予算額1,000万円でございます。再生可能エネルギー100%の電力を活用したスマート農業モデルを手がける事業者に対しまして、その投資にかかる一部を支援したいという事業でございます。補助率は2分の1、補助上限額が500万円、予算額としましては500万の2件、それで1,000万を想定しております。

はぐっていただきまして54ページでございます。社会面の取組ということで、鳥取型ワーケーションの推進ということで634万5,000円でございますけれども、そのうちの②番のところのワーケーションプログラム企画費209万円でございますけれども、今年度、今現在ワーケーションプログラムを作成途中でございまして、このプログラムが出来上がりましたら、来年度モニターツアーを実施したいというふうに考えております。また、そのツアーを実施しまして、参加者の意見等も踏まえましてプログラムの改修でありますとか新たな企画、そういったものも取り入れていきたいというふうに考えているところでございます。ワーケーションのプログラ

ムにつきましては書いておりますように、実施主体としまして麒麟のまち観光局と日本能率協会マネジメントセンターで行っていただいております。舞台としまして鹿野地域を予定して進めているところでございます。それからその下の③ですけれども、これも新規でサテライトオフィス等誘致支援業務ということで225万5,000円でございます。都市部の企業人材の参入によります地域活性化を図るためにサテライトオフィス等の誘致に向けたマッチング業務を委託したいと考えております。都市部の企業人材の本市への流入を促進しまして、地元企業等のみならず様々なステークホルダーの参入による地域活性化を図りたいというふうに考えているところでございます。

次に環境面の取組ということで再エネ地産地消の推進に600万を計上しております。そのうちの新規事業としまして①番です、微生物発電実装事業支援補助金300万でございます。新たな再生可能エネルギー源の確保のために、市内の耕作放棄地を活用して微生物発電の実用化に向けて行う事業に対する経費の一部を支援するものでございます。補助率は3分の1、上限額300万円、予算額は300万円ということで1件を想定しております。

それから(4)の3側面をつなぐ統合的取組ということで954万2,000円ですけれども、まず、1つ目としまして、SDGs未来都市プロジェクト推進協議会運営経費としまして269万2,000円でございますけれども、これにつきましてはステークホルダーを集めました連携協議会の設立・運営のために補助職員として会計年度任用職員を昨年の12月から雇用しておりますけれども、これを令和4年度も継続をして雇用したいと考えております。その人件費が203万7,000円、それから事務費としまして需用費を65万5,000円計上をさせていただいております。

それから②番、Webページ作成等情報発信経費ということで685万円でございます。本市のこのような取組を積極的に情報発信するためにホームページを、今年、作成をしているところでございますけれども、来年度につきましてはそのホームページの運用経費としまして165万円、それから周知啓発用の動画を作成し、公開するための経費としまして418万円、また、市民や企業向けのセミナーを開催する経費としまして102万円を計上させていただいてトータルで3,348万7,000円予算計上させていただいております。2分の1は国の地方創生推進交付金を充当するものでございます。

◆田村繁巳分科会長 大野次長。

○大野正美次長兼経済・雇用戦略課長 続きます委員資料43ページの一番上でございます。人材確保推進事業費、事業別概要が130ページの下段でございます。この事業は平成31年1月15日に締結をいたしました鳥取市と鳥取労働局との雇用対策協定に基づきまして、鳥取労働局やハローワーク鳥取と連携して人材確保に向けた取組を推進しているものでございます。事業の内容といたしましては、まず1つが広報活動通じた市内企業の人材確保及び大学生等の市内就職を促進するために自社の魅力や人材採用について動画で宣伝しようとする事業者に対して、その動画の作成費の一部を補助するものでございます。補助率が4分の3、上限が10万円ということでございます。4年度につきましては6件60万の予算を上げさせていただいております。

それから2番目としまして市内企業の人材確保及び若年者の市内企業就職の促進を図るため

に、従業員の奨学金の返済を支援する制度を設けている事業者に対して、その手当の一部を補助するものでございます。中小企業等奨学金返済事業補助金ということで補助金を交付しておりますが、すみません、ここで資料の修正をお願いをしたいと思います。下から3行目のところに中小企業等奨学金返済支援事業補助金交付（補助率が2分の1、上限8万円）とありますが、これ来年度から補助率と上限を引き上げさせていただきたいと思っております。補助率が3分の2、上限が10万円ということで予算としては60万円を計上させていただいております。令和3年度の実績としましては1事業所2人分16万円助成をしております。これを補助率を引き上げてより多くの企業に活用させていただきたいというふうに考えております。

それから3番目としまして協定に基づいたハローワーク鳥取と連携した事業を実施するというのがございますけども、これにつきましては一番下でございます、障がい者の就職面接会でありますとか、介護事業所説明会、高齢者就職相談会、子育て世代向けの就職セミナー等々行っております。

事業合わせまして183万1,000円を要求をさせていただいております。財源、国の支出金ということで61万5,000円ありますが、これは地方創生推進交付金を充てております。

続きまして委員会資料の43ページの中段でございます、伝統工芸等後継者育成支援事業費でございます。事業別概要の131ページの下段になります。これは伝統工芸等の技術を伝承するために県内外に向けて情報を発信しまして、後継者の募集を行いますとともに、後継者の受入れを行います事業者と研修従事者に対しまして助成を行っているものでございます。これは県の実施しますふるさと産業支援事業補助金と協調しまして後継者の受入事業者と月に15日以上研修に従事するものに対しまして助成を行っております。また、県外から移住して研修を受ける事業者につきましては、家賃の一部を補助しているものでございます。研修滞在費の助成につきましては日額1万円、上限月当たり20万円ということで12か月分まで市のほうで助成をさせていただいております。家賃の助成につきましては月額2万円を上限、それから研修の受入れをしていただきます事業者につきましては月額3万円を支援させていただいているものでございます。4年度の見込みにつきましては1名の助成を見込んでおります。既にこの3月の下旬に県と一緒に新しく希望される方につきましては面接をする予定にしております。予算の要求総額が331万7,000円ということで、国県支出金につきましては90万は県からの補助金でございます。

◆田村繁巳分科会長 西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課西田です。そうしましたら44ページの中ほどですけども、企業のまち鳥取創造プロジェクト事業費201万3,000円でございます。事業別概要は140ページの下段でございます。これにつきましては起業のまちづくり投融资ということでファンドとそれから融資によります支援をしておりますものでございますけども、この事業につきましてはまちづくり融資を活用されました事業者に対しまして、その利息を補助するものでございます。補助額としましては融資利率の1.7%に相当する額を補助するものでございます。事業者のほうにつきましては0.5%で融資を受けられるという事業でございます。これにつきましてはの利子補助額としまして本年度201万3,000円を計上させていただいているもので

ございます。

◆田村繁巳分科会長 大野次長。

○大野正美次長兼経済・雇用戦略課長 続きまして委員会資料45ページの下から2段目でございます。物産振興体制強化事業費ということで事業別概要133ページの下段になります。この事業は本市の物産振興による経済活性化を図るために、鳥取市観光コンベンション協会がまちパル鳥取で運営をしておりますふるさと物産館での加工品や民芸品の展示販売を支援するために、物産振興体制強化事業費補助金として鳥取市観光コンベンション協会に対しまして、ふるさと物産館の運営費の一部を支援を行っているものでございます。物産館の運営に係る人件費、それから家賃の一部を補助対象といたしまして経費の2分の1を補助しているものでございます。

なお、この事業におきましては1月補正でSNSのプレゼントキャンペーンということで200万円の予算化をさせていただいております。これによって合わせて売上アップにつなげていきたいというふうに考えております。要求額が879万円、国県支出金につきましては地方創生推進交付金を充てております。

◆田村繁巳分科会長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課平井です。そうしますと観光費のほうに移ります。委員会資料のほうの47ページ、上から4つ目、国際観光推進事業部でございます。事業別概要が141ページの下段になります。予算額ですけれども3,369万7,000円となります。こちらインバウンド需要の回復を見据えて県などと連携しました効果的な観光情報の発信や、台湾を中心に海外プロモーションを実施すると、それと併せまして鳥取駅にございます国際観光客サポートセンターの運営を行うものでございます。主な内訳としましては、先ほどの国際観光客サポートセンターの運営として、こちら英語、韓国語、中国語の話せるスタッフ6名が常駐しているんですけども、こちらの運営に約2,301万円、それからアフターコロナを見据えて切れ目のない情報発信を行うため、台湾を中心としたインフルエンサーの招聘ツアーですとか、それからフェイスブック、現地メディア等でのプロモーション費用として1,044万1,000円が主な内訳となっております。

続きまして同じ47ページの一番下でございます。しゃんしゃん祭振興会補助金、こちら事業別概要が142ページの下段、予算額は2,766万5,000円となります。こちらしゃんしゃん祭を運営しますしゃんしゃん祭振興会への補助金ということでございますが、現在、来年度の開催についての状況なんですけども、こちらは、現在、振興会が踊り子連の意見を聞きながら開催形態を検討しているような状況なんですけども、補助金の主な内訳といたしましては、振興会職員の人件費が619万2,000円、それから祭りの企画運営、警備等にかかります委託費、こちらが1,630万円、それから宣伝費に645万円といったようなものが主な内容となります。こちら全額ふるさと納税基金繰入金を充当しております。

それから48ページのほうをはぐっていただけたらと思います。こちらの下から4つ目、日本一の砂場魅力〇ごと事業負担金、事業別概要は143ページの上段となります。予算額が680万円でございます。こちらは鳥取砂丘の特色を生かしたイベント等を鳥取砂丘未来会議が募集をし、審査決定した後に事業費を県と市で2分の1ずつ負担し、イベントを支援するようなもの

でございます。昨年12月に締結しました県との連携協約も踏まえながら、このたび、制度の見直しを行っておりまして、従来の上限100万円に加えまして、このたびから砂丘の4エリア、西エリア、多鯨ヶ池エリア、中央、それから東と4つのエリアがありますけども、このうち2つのエリア以上を活用し、周遊させるような事業に限っては上限を150万円とするような新たな制度に変更をしていく予定にしております。補助率は1年目が5分の4、2年目が3分の2、3年目が2分の1ということで、現在イベントの募集を行っておるところでございます。3月の下旬頃には審査の上、決定していく予定にしております。こちらも財源としては全額ふるさと納税基金繰入金を充当しております。

それからその2つ下ですね、48ページの砂の美術館管理運営費でございます。事業別概要が143ページの下段、予算額が3,651万1,000円となります。こちらは砂の美術館の管理運営に係る経費といたしまして、主に砂像彫刻家の出入国に係る対応の旅費等の経費、それから総合プロデューサー業務、それから展望駐車場の土地の借り上げ、あと、砂像制作に使用する砂のふり業務と鳥取砂丘情報館のエアコンの改修に伴う賃貸借経費に係るものとなります。なお、次期14期展示ですけども、このたびはエジプト編をテーマに7月の開会の予定で令和6年1月3日までの開催を予定しております。こちら財源ですが全額砂の美術館固定納付金を充当しております。

続いて49ページのほうに移らせていただいて、こちらの下から3つ目、砂丘管理事業費でございます。事業別概要書が144ページの下段、予算額は5,613万1,000円となります。こちら鳥取砂丘の清掃や海岸漂着ゴミの収集運搬処理、それから鳥取砂丘未来会議による景観保全のための除草や堆積した砂の移動など、こういった保全とか景観の維持、そういったものに関する経費として約2,630万円、それからゴールデンウィークなどの大型連休時における渋滞対策として、警備員の配置や臨時バスの運行などに要する経費として約2,900万円が主な内訳となっております。財源ですけども、ふるさと納税基金繰入金が1,604万3,000円、県の海岸漂着物処理事業補助金が160万円、同じく県の市町村事務移譲交付金72万円、それから自然公園財団の土地代10万円、鳥取砂丘渋滞対策の県の負担金が815万8,000円といったものが充当しております。

続いて49ページの一番下になります。広域観光開拓推進事業費、事業別概要が145ページの上段、予算額が3,220万円となります。こちらは地域連携DMO麒麟のまち観光局の運営を1市6町で支援するための運営負担金として2,500万円、それから公益事業負担金ということで、圏域の周遊スタンプラリーの実施や、本年度にリニューアルしました鳥取市観光コンベンション協会のホームページを活用した研修会の開催や圏域の観光情報、それから食のコンテンツの充実強化を図っていくための経費、あと、併せて麒麟のまち圏域のウェブアンケートの実施と、それに伴いますマーケティング分析など、公益事業負担金という形で720万円を計上しているものでございます。こちらは地方創生推進交付金1,610万円を充当しております。

それから委員会資料50ページの一番上になります。観光産業育成支援事業、事業別概要が145ページの下段、予算額が300万円となります。こちらは観光事業者の皆様が行います施設の整備や改修、さらには観光誘客や広報宣伝活動などへの支援を目的に創設された、平成22年

度にできた制度なんですけども、新型コロナの影響を受ける事業者の下支えをするため、引き続き予算枠を少し拡充して支援を行っていくものでございます。

説明は以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 西田課長。

○西田茂樹企業立地・支援課長 企業立地・支援課西田です。それではもう1つ、債務負担行為を御説明したいと思います。事業別概要は246ページでございますけども、この文教委員会の資料の52ページに同じものをつけさせていただいております。鳥取市土地開発公社借入金の損失補償でございます。これは鳥取市の土地開発公社が行います工業団地の整備に関わる用地取得費、造成費、管理費等、これらの借入金及び利息に対しまして、損失補償を毎年市が行っているものでございます。令和4年度につきましては49億2,289万4,000円とその利子に相当する額を損失補償することとしているところでございます。

以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 説明いただきました。

聞き取りにくかった点、用語の確認等があれば挙手をお願いします。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議案第7号令和4年度鳥取市公設地方卸売場事業費特別会計予算（説明）

◆田村繁巳分科会長 続きまして、議案第7号令和4年度鳥取市公設地方卸売場事業費特別会計予算を議題とします。

執行部より説明をお願いします。大野次長。

○大野正美次長兼経済・雇用戦略課課長 経済・雇用戦略課大野でございます。委員会資料の55ページからになります。公設地方卸売市場事業費特別会計でございます。歳入につきましては歳出と併せて説明させていただきます。

委員会資料57ページを御覧ください。歳出でございます。

まず、公設地方卸売市場運営審議会委員報酬ということで運営審議会の委員13人お願いをしております。これの報酬1回当たり7,000円、年間3回予定しております、合わせて27万3,000円を想定しております。併せて食糧費を6,000円要求させていただいております27万9,000円の要求額ということになります。財源につきましては、市場施設使用料を充当することとしております。

その下でございます。管理運営費でございます。これは全国地方卸売場協議会、これへの参加経費、それから市場の火災保険料等を充てているものでございます。協議会への参加につきましては、今年は2回予定をしております。県外に2回予定をしております。その出張旅費と併せて先進地視察も1回ということで予定をしております。合わせて旅費として22万1,000円を要求させていただいております。火災保険料としましては10万1,000円の要求をさせていただいております。合わせて32万2,000円ということで、財源としましては荷さばき場使用料を充当させていただいております。

それからその下でございます。業務委託費ということで、これは共同組合鳥取総合食品卸売

市場に対して指定管理で管理料を払っております。これが2,742万6,000円、それと除雪の委託費ということで33万7,000円、合わせて2,776万3,000円を要求させていただいております。財源につきましては市場施設使用料と荷さばき場使用料を充当させていただいております。

それからその下です。設備整備費ということで、これは来年度からいよいよ市場の設計・施工に入っております。その設計・施工費を一括発注する予定にしておりますけれども、これの初年度分、令和4年度分ということで4,932万3,000円、これは基本設計と実施設計の一部でございますけれども、要求をさせていただいております。あわせてプロポーザルの選定委員会の委員さんへの報酬、これを12万円、それから食糧費を4万円ということで合わせて4,944万7,000円を計上させていただいております。財源としましては、まず、国県支出金でございますけれども、これは国の強い農業・担い手づくり総合交付金、これを566万3,000円充当することとしております。それから地方債としましては市場事業債4,360万円ということでございます。

この設計・施工の一括発注でございますけれども、令和4年から4年間の事業ということで要求をさせていただいております、債務負担行為を設定させていただいております。委員会資料の59ページでございます。限度額ということで35億4,777万8,000円ということで、先ほどの令和4年度分ということで4,932万3,000円、それからこの債務負担行為の限度額、4年分の限度額ということで合わせたもの、35億9,710万1,000円、これが市場の整備にかかるトータルの総額という形になります。

今後の予定でございますけれども、4月にプロポーザルの公募を開始したいと思っております。併せて国の交付金、強い農業・担い手づくり総合支援交付金、これの申請も行う予定にしております。その後、8月末には相手方を確定させまして仮契約の締結を行った上で9月議会に諮りたいというふうに考えております。

それから委員会資料の57ページに戻りまして、一番下でございます。市場活性化事業費50万円でございます。これは毎年、市場まつりを行っております。大体11月に開催をしているんですけども、コロナの影響で令和2年度、3年度とも2年続けて中止にさせていただいております。来年度につきましてはコロナの状況を見ながらですけども、何とか開催できるといいなというふうに考えておまして、その経費を上げさせていただいているところでございます。財源としましては荷さばき場使用料を充てさせていただいております。

おはぐりいただきまして58ページ、一番下と下から2番目でございます。長期借入金の元金の償還金と利子の償還金でございます。これは平成26年に行いましたアスベストの撤去工事、それから27年に行っております屋根の改修費用、これの改修撤去等に伴いまして、長期借入を行っておりますけれども、これの元金と利息の償還を行っているものでございます。来年度分としまして、元金の償還金としましては241万1,000円、それから利息としましては23万8,000円ということで、いずれも荷さばき場使用料を財源として充てさせていただいております。

以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 御説明いただきました。

聞き取りにくかった点、用語の確認等がある方は挙手お願いします。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議案第14号令和4年度鳥取市温泉事業費特別会計予算について（説明）

◆**田村繁巳分科会長** ないようでございますので、次に議案第14号令和4年度鳥取市温泉事業費特別会計予算を議題とします。

執行部より説明をお願いします。平井課長。

○**平井宏和観光・ジオパーク推進課長** 観光・ジオパーク推進課平井です。そうしましたら、温泉事業費特別会計のほうですけれども、委員会資料のほうは60ページのほうをお願いします。事業別概要書は272ページになります。初めに歳入でございますけれども、内訳です。温泉配湯負担金165万円、それから温泉使用料が4,640万2,000円、それから基金積立金利子としまして3,000円、それから前年度繰越金1万円ということでございます。総額が4,806万5,000円というふうになります。なお、令和4年の1月末現在の加入者の数ですけれども、鹿野温泉が227、浜村温泉が53、計280件となっております。

続きまして歳出でございます。歳出のほうはまず維持管理費でございます。こちらは鹿野温泉、浜村温泉の配湯を各家庭や施設に供給するため、源泉ポンプ所、貯湯槽や配湯ポンプ所、管理システム及び配管設備の修繕など、維持管理に要する経費となっております。大きいところでいきますと、この施設の修繕とか使用料の料金賦課等を行います嘱託職員の人件費に約250万円、温泉施設の光熱水費に約1,149万8,000円、それから先ほど言いました、各配管設備等の修繕ですね、こちらが555万3,000円といったところが主な経費になっております。全額温泉使用料を充当しております。

それからその下でございますけれども、温泉事業基金積立金といたしまして予算額が2,123万6,000円ということでございます。こちらは基金繰替運用で発生する利息、それから歳入から歳出を引いた額を積立金として積み立てるものでございますけれども、令和2年決算時点の今の基金の積立ての総額ですけれども、約9,300万円というふうになっております。こちらのほうの財源ですけれども、温泉配湯負担金165万円、温泉使用料1,957万3,000円、それから温泉事業積立金利子3,000円、前年度繰越金1万円を充当しております。

それと予備費を1万円ということで予算要求させていただいておるところでございます、歳出の合計が4,806万5,000円となります。

説明は以上でございます。

◆**田村繁巳分科会長** 御説明いただきました。

聞き取りにくかった点、用語の確認等がある方は挙手をお願いします。ございませんか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

議案第15号令和4年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計（説明）

◆**田村繁巳分科会長** 続きまして議案第15号令和4年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計を議題とします。

執行部より説明をお願いします。平井課長。

○**平井宏和観光・ジオパーク推進課長** 観光・ジオパーク推進課平井です。そうしますと委員会

資料のほうの62ページ、63ページのほうになります。予算の事業別概要は273ページを御覧ください。初めに歳入でございますけども、予算額が810万7,000円ということでございます。内訳は一般会計からの繰入金717万1,000円と、それから雑入といたしましてふるさと鹿野の利益還元金50万円、浜村温泉館施設使用料43万6,000円の雑入の合計が93万6,000円となります。

63ページの今度歳出のほうでございます。初めに観光施設管理費でございます。予算額が655万4,000円でございますけども、こちらは気高町の遊漁センターの指定管理料559万3,000円はじめ、遊漁センターの海水取水設備や玄関前の段差解消など施設の修繕などに要する経費が主なものとなっております。

その下、温泉施設管理費でございます。予算額が154万3,000円、こちらの内容でございますけども、浜村温泉館の電気代ほか電気設備の保安管理、それから山紫苑、鹿野温泉館も含めました3施設の建物災害共済など、維持管理費に要する経費となっております。こちら財源ですけど、ふるさと鹿野利益還元金、浜村温泉館の施設使用料の合わせて93万6,000円を充当しております。

あと、予備費といたしまして、予算額として1万円を計上しておりまして、歳出の合計の810万7,000円となります。説明は以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 御説明いただきました。

聞き取りにくかった点、用語の確認等がある方は挙手お願いします。ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆田村繁巳分科会長 ないようでございます。

以上で経済観光部に関する部分を終了し、予算審査特別委員会文教経済分科会を閉会します。

午後2時5分 閉会

文教経済委員会・ 予算審査特別委員会 文教経済分科会 日程

日時：令和4年2月28日（月）

本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会・跡地活用分科会終了後

場所：7階 第2委員会室

経済観光部（跡地特別委員会・分科会終了後～）

----- <文教経済委員会> -----

◎議案（先議分）【説明・質疑・討論・採決】

議案第23号 令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第15号）【所管に属する部分】

議案第25号 令和3年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算（第4号）

議案第32号 令和3年度鳥取市温泉事業費特別会計補正予算（第2号）

議案第33号 令和3年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計補正予算（第4号）

◎議案【説明】

議案第49号 鳥取市国民宿舎山紫苑の設置及び管理に関する条例の一部改正について

◎陳情【質疑・討論・採決】

<新規>

令和4年陳情第3号

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情

◎報告

鳥取市地域振興チケットの事業実績について

麒麟のまち関西情報発信拠点運営事業者の公募型プロポーザルの結果について

鳥取砂丘キャンプ場（仮称）運営事業に関する公募型プロポーザルの実施について

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

◎議案【説明】

議案第 5号 令和4年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第 7号 令和4年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算

議案第14号 令和4年度鳥取市温泉事業費特別会計予算

議案第15号 令和4年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算